

12月は「大気汚染防止推進月間」です。

12月は自動車交通量の増加、ビルや家庭の暖房、さらに冬季特有の気象現象「逆転層」の影響もあり、窒素酸化物(NOx)や粒子状物質(PM)などの大気汚染物質濃度がより高くなる時期です。



このため、環境省では、毎年12月を大気汚染防止推進月間として、きれいな空を守ることの大切さを呼びかけています。

- ・エコドライブを実践しましょう
 - ・自転車や電車の使用を心がけましょう
 - ・暖房の使用を控えましょう
 - ・大気汚染の防止についてみんなで考えましょう
- 空にやさしい、いい一日を、お過ごしください。

妙高高原におけるスノーモービル等の乗入れ規制について

妙高連峰の日本100名山の1つである火打山とその周辺の高層湿原地帯は、比較的なだらかな傾斜地であるため特に春先にスノーモービルの乗入れが多く、自然植生の破壊やライチョウの生息への影響が懸念されています。

そこで、環境省では、平成14年度に、笹ヶ峰から妙高連峰にかけて「車馬若しくは動力船の使用又は航空機の着陸を規制する区域」を指定し、スノーモービルなどの乗入れ規制を行っています。

国立公園の貴重な自然環境を守るため、スノーモービルなどの乗入れは自粛していただくようお願いいたします。

詳しい規制区域は、環境省ホームページ(http://www.env.go.jp/park/joshinetsu/intro/files/area_2.pdf)をご覧ください。

表紙の写真

堂々たる別山〈撮影：若泉直大〉

白山全体が白くなった初冬、晴れ間を狙い白山に登りました。甚ノ助谷を右手に見ながら南麓水平道をトラバース。その先の別山の大きな堂々たる姿は、私を待ち受けているようです。



中部地方において様々な「環境」の活動に取り組んでいる方々が、この広報誌を通して「環」(わ)のようにつながって、その「環」が広がってほしいという願いを込めて命名しました。

EVENT CALENDAR

平成21年12月～平成22年2月

中部地方環境事務所 ☎052-955-2130
<http://chubu.env.go.jp/>

中部エネルギー・温暖化対策推進会議シンポジウム(仮題)
1月23日(土):名古屋米ビルディング(愛知県名古屋市)

名古屋自然保護官事務所 ☎052-389-2877

藤前干潟子ども環境シンポジウム 12月5日(土)
初干潟&冬鳥ウォッチング 1月30日(土)
カモかもウォッチング 2月14日(日)

横山ビジターセンター ☎0599-44-0567
<http://www.yokoyama-vc.jp/>

しめ縄づくり 12月12日(土)
ふたご座流星群と冬の星座観察会 12月14日(月)
竹でつくろう! 1月10日(日)
オシドリを観察会 1月16日(土)
冬の野鳥観察会 2月13日(土)
アカガエルの観察会 2月20日(土)

長野自然環境事務所 ☎026-231-6570
<http://chubu.env.go.jp/nagano/>

中部山岳・上信越高原アクティブレジャー国立公園写真展
1月9日(土)～2月3日(水):
クリスタルテラス・ギャラリー(長野県下高井郡山ノ内町)
2月9日(火)～:
菅平高原国際リゾートセンター(長野県上田市菅平)

鹿沢インフォメーションセンター ☎0279-80-9119
<http://www.kazawa.jp/>

手作りクリスマスリース作り 12月16日(日):湯楽里館(長野県東御市)
スノーシュー池ノ平 1月30日(土)

編集後記

COP10の開催まであと1年を切りました!ただ、内閣府が今年6月に実施した世論調査によると、生物多様性の言葉の意味を知っていると答えた人はわずか12.8%。回答者の61.8%は「言葉を聞いたこともない」と、「生物多様性」という言葉は、まだまだ市民には浸透していないようです。確かに「生物多様性」を身近に感じることは少ないかもしれませんが、コラムにあるように、私たちは、生物多様性から何らかの恩恵を受けて暮らしています。これを機に生物多様性と私たちの生活との関わりについて考えてみませんか。

発行：環境省

中部地方環境事務所

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2

TEL 052-955-2130 FAX 052-951-8889

URL <http://chubu.env.go.jp/>

長野自然環境事務所

〒380-0846

長野県長野市旭町1108 長野第一合同庁舎3階

TEL 026-231-6570 FAX 026-235-1226

URL <http://chubu.env.go.jp/nagano/>

